



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月1日

上場取引所 大

上場会社名 虹技株式会社

コード番号 5603 URL <http://www.kogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 谷岡 宗

TEL 079-236-3221

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,930	1.3	95	△55.3	105	△48.1	53	△53.4
24年3月期第1四半期	3,878	10.1	214	△3.6	202	8.5	114	13.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 111百万円 (△24.5%) 24年3月期第1四半期 147百万円 (31.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1.62	—
24年3月期第1四半期	3.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	21,531	8,776	37.0
24年3月期	20,682	8,830	39.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,962百万円 24年3月期 8,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,700	4.4	190	△56.1	140	△64.2	70	△67.5	2.12
通期	18,300	4.3	750	△31.5	620	△36.3	360	△35.9	10.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 有 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- | | |
|---------------------|--|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | |
| ② 期末自己株式数 | |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | |

25年3月期1Q	33,621,637 株	24年3月期	33,621,637 株
25年3月期1Q	591,804 株	24年3月期	591,804 株
25年3月期1Q	33,029,833 株	24年3月期1Q	33,029,121 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要などがけん引し、ゆるやかに持ち直しつつあるものの、欧州の金融不安や中国経済の減速感、円高の長期化や電力供給の制約など予断を許さぬ状況で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、「虹技の品質」をスローガンに、第3次3カ年計画の最終年度にあたり、「品質 ナンバーワンをめざす」、「技術開発への取り組みの強化」、「教育の充実」、「財務体質の更なる強化」の4つの基本方針に基づく重要課題を達成すべく、全社をあげて実行計画を推し進めてまいりました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高39億3千万円（前年同期比 1.3%増）、営業利益9千5百万円（前年同期比 55.3%減）、経常利益1億5百万円（前年同期比 48.1%減）、四半期純利益5千3百万円（前年同期比 53.4%減）となりました。

なお、上記の経常利益には、退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)を、△1億2千7百万円（前年同期 △5千9百万円）、同じく四半期純利益には、△7千8百万円（前年同期 △3千5百万円）を含んでおります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋳物関連事業

鋳型は、自動車向け需要増による特殊鋼メーカー各社の鋳型需要により堅調に推移しました。自動車用プレス金型鋳物は、国内金型市場の縮小により厳しさが続いております。大型産業機械用鋳物は、主要顧客先である工作機械業界の海外需要の先行き不安を背景に、売上高は前年同期を下回りました。ロールは、海外向け大口物件の売上は前年同期を上回りましたが、国内需要の低迷により、厳しい状況で推移しました。小型鋳物は、下水道鉄蓋や電線共同溝用鉄蓋は厳しい状況が続いておりますが、機械鋳物類の売上拡大により、売上高は前年同期を上回りました。デンスバーは、中国向け建設機械や油圧機器の需要減や長引く円高により、国内需要、海外向け需要とも影響がありました。

また、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司は、引き続き堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は、33億4千2百万円（前年同期比 2.9%増）、経常利益2億2千2百万円（前年同期比 10.1%減）となりました。

② その他の事業

送風機は、国内外の製鉄プラントならびに環境関連向けを中心に売上高は前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスバクターも鉄鋼やIT向け冷却装置を中心に売上高は前年同期を上回りました。KCメタルファイバーは、売上量増加による生産増などにより堅調に推移しました。環境装置事業は、炉修工事や保守・メンテナンス工事の受注拡大に努め、都市ゴミ焼却炉延命化工事などの大口物件の受注もありましたが、売上が年度後半となることから、当四半期の売上高は前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、5億8千7百万円（前年同期比 6.8%減）、経常利益7千7百万円（前年同期比 28.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、132億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ10億6千3百万円増加いたしました。これは、主として現金及び預金が増加したことなどによります。

固定資産は、83億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1千4百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、215億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億4千8百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、86億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3千5百万円増加いたしました。

固定負債は、40億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億6千6百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、127億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億2百万円増加いたしました。

(純資産)

当第 1 四半期連結会計期間末における純資産合計は、87億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ5千3百万円減少いたしました。これは、剰余金の配当により利益剰余金が減少したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の39.2%から37.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期連結会計期間より、平成24年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産（工具の一部（木型・金型）を除く）については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第 1 四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,028	4,069
受取手形及び売掛金	5,791	5,538
商品及び製品	1,201	1,393
仕掛品	1,075	1,146
原材料及び貯蔵品	820	837
繰延税金資産	102	95
その他	202	148
貸倒引当金	△66	△8
流動資産合計	12,156	13,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,185	1,193
機械装置及び運搬具（純額）	2,093	2,087
土地	795	795
その他（純額）	1,116	1,184
有形固定資産合計	5,191	5,261
無形固定資産	18	16
投資その他の資産		
投資有価証券	1,256	1,120
前払年金費用	1,924	1,775
その他	137	137
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	3,315	3,032
固定資産合計	8,525	8,310
資産合計	20,682	21,531

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,610	3,454
短期借入金	2,415	3,192
未払法人税等	271	79
賞与引当金	112	85
その他	1,924	1,857
流動負債合計	8,334	8,670
固定負債		
社債	150	150
長期借入金	2,673	3,348
繰延税金負債	459	356
未払役員退職慰労金	63	63
退職給付引当金	67	70
環境対策引当金	101	91
その他	4	3
固定負債合計	3,517	4,084
負債合計	11,852	12,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	587	587
利益剰余金	5,437	5,325
自己株式	△67	△67
株主資本合計	7,959	7,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213	126
繰延ヘッジ損益	△19	△1
為替換算調整勘定	△55	△10
その他の包括利益累計額合計	138	114
新株予約権	5	5
少数株主持分	725	808
純資産合計	8,830	8,776
負債純資産合計	20,682	21,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	3,878	3,930
売上原価	3,197	3,354
売上総利益	681	575
販売費及び一般管理費	466	479
営業利益	214	95
営業外収益		
受取利息及び配当金	12	12
貸倒引当金戻入額	18	58
その他	3	5
営業外収益合計	33	75
営業外費用		
支払利息	27	23
支払補償費	—	33
その他	17	9
営業外費用合計	44	66
経常利益	202	105
税金等調整前四半期純利益	202	105
法人税、住民税及び事業税	60	71
法人税等調整額	11	△58
法人税等合計	71	12
少数株主損益調整前四半期純利益	131	92
少数株主利益	16	38
四半期純利益	114	53

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	131	92
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△87
繰延ヘッジ損益	0	17
為替換算調整勘定	38	88
その他の包括利益合計	16	19
四半期包括利益	147	111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112	29
少数株主に係る四半期包括利益	35	82

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

Ⅰ. 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	3,247	630	3,878	—	3,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,247	630	3,878	—	3,878
セグメント利益	247	60	308	△105	202

(注) 1. セグメント利益の調整額△1億5百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△6千1百万円、営業外収益が3千3百万円、支払利息を除いた営業外費用が△1千7百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△5千9百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	3,342	587	3,930	—	3,930
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	△2	—
計	3,342	590	3,932	△2	3,930
セグメント利益	222	77	300	△195	105

(注) 1. セグメント利益の調整額△1億9千5百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△7千6百万円、営業外収益が1千7百万円、支払利息を除いた営業外費用が△9百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△1億2千7百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。